

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議の記録の整備	・運営推進会議議事録の整備作成	・運営推進会議議事録を整備し作成する。	1ヶ月
2	49	○日常的な外出支援 隣接する小学校の登下校時の旗振り(見守り)への参加や日常の買い物等、地域との関わりを持ちながら外出できるよう取り組んでいるが、日常的な外出支援においては自己表出可能な方やいくつかのグループ別に分けての支援となっており、すべての方(全入居者様)への個別対応(本人様が希望する外出先等)での外出支援となると、まだまだ十分ではない。 また、家族様の協力の下、選挙や墓参り、一時帰宅や外泊等の支援も引き続き行っているが、本人様の認知症の進行やADL低下により家族様との外出機会や、外泊等の機会が減少してきている。	・個別外出支援の充実	・自己表出可能な方の個別外出支援やいくつかのグループに分けてのグループ外出支援を継続しながら、自己表出の困難な方へも個別外出支援を拡大していく。全職員からの創意工夫を募り、できるだけ多く本人様が望む外出(行先、形式等)機会を作れるよう取り組み、職員は基より、家族様や地域住民の方にも協力を仰ぐ。 ・家族様への働きかけに関しては、事業所側からも引き続き実際に行動に移し、具体的に報告する際に家族様との外出先までの送迎なども提案、合わせて他の資源(ボランティアや別途の介護サービス)の活用等の提案もしながら、本人様と家族様との良好な関係構築への支援も同時進行で取り組み、家族様の受け入れに関する抵抗感の減少を図る。 ・ホーム内の全体会議やカンファレンス等とおし、職員間で経過や取り組みを共有し、課題解決へ向けて幅広く意見を拾い上げ、全ての方が日常的に個別支援による外出が達成できるよう一歩ずつでも前進できるよう取り組んでいきたい。	6ヶ月～ 12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。